園児らの姿が戻る

全員無事、保育を再開

大船渡市の明和保育園

大震災発生から6日。8000人を超える被災者が避難所生活を送る大船渡市では、大船渡町にある明和保育園（金野うき子園長、園児135人）が15日から保育を再開し、園内に園児の笑顔が戻った。

同園は同町上山の高台にあり、今回の大津波被害から免れた。震災発生後、数日間受け入れていた避難者が他の施設に移ったり、自宅に戻るなどして避難所としての役目を終えたため、園児の保育が可能となった。地震発生時は園児124人を保育中で、当日休んでいた園児を含め全員の無事が確認されている。

職員のうち7人が出勤。保育ルームには、オモチャで遊んだり、友達とはしゃぎあう園児たちの明るい笑顔と歓声が広がり、傍らで見守る職員の表情も和らいでいた。

5歳の女児は「みんなと遊べて楽しい」と声を弾ませ、職員のひとりは「子どもたちと無事に再会できてうれしい。無邪気な笑顔を見て、ほっとしました」と安堵の表情をみせていた。

金野園長によると、同園ではソーラー発電で電力を確保しており、プロパンガスも使用可能。灯油や水、お菓子類の備蓄もあり、おにぎりと温かいスープの給食やおやつを提供できているという。

ただ、おむつと粉ミルクは震災発生の緊急事態を受けて近隣の避難所に無償提供したことから不足しており、「登園する際は持参す」と話している。

同園では当面、午前9時～午後4時まで保育を行う予定。

金野園長は「子どもたちは、落ち着いて過ごしています。今後、職員が通園するためのガソリンが確保できれば、通常通りの態勢で保育ができると思います」と話している。

保育が再開された明和保育園で元気に過ごす園児たち＝大船渡市

社協本部立ち上げ

竹駒町で準備始まる

陸前高田

東日本大震災の大津波によって被害を受けた陸前高田市社会福祉協議会（佐々木廣道会長）は16日、竹駒町字滝の里にある陸前高田ドライビングスクールのレストラン・マイウスに本部を立ち上げた。今後は県社協などの支援、指導を受けながら本格的な再開の準備を進めていく。

同社協は大震災まで、高田町字館の沖の市ふれあいセンター内に事務局を置いて業務を展開。しかし、大津波によって施設が冠水。役員、常勤嘱託職員ら18人のうち、佐々木会長ら8人が現在も行方不明となっている。

資料なども現存しているかは確認できず、震災以降、社協の機能は停止した状態。しかし、国や福祉関係の貸付など早期に対応しなければならない業務もあることから、無事が確認された役員、職員らで再開に向けて第一歩を踏み出すこととなった。

本部立ち上げに向けては、熊谷光人副会長、大坂富夫事務部長らを中心に動き、15日に住田町社協を通じて県社協に連絡。

最低限の消耗品を住田町社協から支援してもらい、事務所施設については市民児協・及川昇副会長の紹介で同校のレストラン施設を当面借りることとなった。

16日は熊谷副会長ら関係者7人が集まり、消耗品の確認などを実施。もう一人の職員は市給食センターにある市災害対策本部に派遣され、ボランティア受け付けを行った。17日には県社協の職員が来市して今後の対応を話し合うとともに、大船渡市、住田町の両社協にも支援を要請していくという。

熊谷副会長は「職員を確保し、県の支持と応援を得ながら福祉活動に努めたい」と話している。

避難者のため懸命に

市内2校で炊き出し作業

大船渡

大船渡市の避難所となっている猪川小学校と立根小学校では、地域住民や市職員、教職員らが協力して、各地区避難者のための炊き出しを行っている。

猪川小学校では16日、市職員、地域住民らによって午前9時30分から午後2時ごろまで作業が行われた。当初は1日におにぎりを4000個ほど作っていたが、パンなどの配給が始まってからは約2000個になったという。

立根小学校でも同日、地域住民や学校職員ら多くの人が集まり、午前9時30分ごろから午後3時ごろまで同校家庭科室でおにぎりを作った。同校では自衛隊員のための炊き出しも行っており、1日に作るおにぎりは約9000個にも上る。炊き出しを行っている住民らは、避難者のために懸命に作業に当たっている。

炊き出しは今後も行われる予定。出来上がったおにぎりは、いったん市役所の本部に届けられたあと、各避難所へと配分される。

避難者のために炊き出しを行う市職員や地域住民ら＝猪川小学校

リアスホールに250人

マンホールを仮設トイレに

大船渡市民文化会館（リアスホール）は、多くの被災者で溢れかえっている。

新築して間もないリアスホールは、指定避難所になっていないが、未曾有の大津波による被災者が続出し、緊急措置として11日から開放された。

正面玄関を入った2階のホワイエ、1階のマルチスペース、展示室、会議室などでは被災者が毛布や敷物、段ボールで暖を取っている。

避難者の数は、大津波が発生した11日夜は約500人を収容。16日現在、家が倒壊した人など約250人が不安な思いを抱えながら救援物資の到着を静かに待っている。着の身着のままで逃げてきた人が多く、着替えなども不足している。

陸前高田市広田町の村上秀市さん（73）は、車いす生活を送る中で被災した。広田小校庭に避難して車中で2晩過ごし、救助ヘリで竹駒町に搬送された後、大船渡病院体育館を経てリアスホールに移動した。

妻のマキ子さん（68）と共に避難生活を送っており、「ここは暖房があるのでいい。しかし、いつまでこういう生活が続くのかと考えると頭が痛い」と話す。

市の担当者によると、食料は炊き出しのおにぎりが順調に回ってくるようになり、電気は13日夕から通った。水は市の給水車を利用している。

トイレは、屋外にある下水道のマンホール2カ所に便器を置いてテントで囲み、仮設トイレとして利用している。

水が足りず、館内の水洗トイレは使用を制限せざるを得ない状況。トイレ、暖房用の灯油が不十分な状況にある。

リアスホールのホワイエで避難生活を送る被災者たち＝大船渡市

災害ボランティア募る

◆両市

大船渡市と陸前高田市の災害対策本部は、災害ボランティアを募集している。内容は避難所での配食や災害記録写真の撮影等。

受付場所は大船渡市が市役所正面玄関、陸前高田市が高田町の市給食センター2階となっている。

避難所の感染症予防

おう吐物の処理に注意

県大船渡保健所は、避難所の感染症対策としてノロウイルスやインフルエンザの予防法の周知に努めている。

避難所生活を送っている被災者に対して、保健所では健康指導を行っており、その中で感染症予防を呼びかけている。

避難所生活で疲労が続き、そのうえ水不足で十分な手洗い、うがいができず、消毒用アルコールも十分でない状況で、感染症の心配が出ている。

人から人への2次感染の予防法として、おう吐物やふん便で汚れた衣類などを片付ける時は、なるべくビニール手袋、マスクなどを使用する。

おう吐物やふん便で汚れたものの対処方は、衣類などは他の衣類と分けて洗う。片付けに使用した用具、雑巾類は塩素系漂白剤で浸け置き洗いする。床は、塩素系漂白剤を含ませた布で被い、しばらくそのまま放置して消毒する。汚物の片付けが終わったらよく手を洗い、うがいをする。

保健所管内では、消毒用アルコール、マスク、使い捨て手袋が不足しており、迅速な供給を待っている状況。

生活関連情報

ライフライン、公共交通、学校、金融機関は16日現在。医療機関、小売店は17日の予定（変更の場合あり）。

ライフライン

【電気】

◇大船渡市＝大船渡町、盛町、猪川町、立根町、日頃市町、赤崎町の一部で復旧。

◇陸前高田市＝高田町鳴石周辺で復旧。他地域は停電。

【水道】

◇大船渡市＝上水道は市内全域断水。給水車が避難所などを巡回中。

◇陸前高田市＝市内全域断水。給水活動中。

【下水道】

◇大船渡市＝全域で使用できず。復旧の見通しも立っていない。し尿等のくみ取りは当分の間、緊急を要する避難所だけ。

◇陸前高田市＝浄化センター機能停止。くみ取り等の対応を検討中。

【電話】

◇大船渡市＝市内全域不通。被災者用の発信専用電話（24時間可能）を猪川町の県大船渡地区合同庁舎に設置。

携帯電話はａｕが盛町の一部で、ドコモが日頃市の一部で通話可能。

◇陸前高田市＝市内全域不通。被災者用の発信専用電話を高田町の高田一中に設置。一部地域でａｕが通話可能。

公共交通

▽JR大船渡線、三陸鉄道、岩手県交通の運行再開は未定。

学校

◇大船渡市▽小・中学校とも当面休校。市立保育所も当面休園。

◇陸前高田市▽小・中学校は31日まで春休み（学校ごとに登校指示あり）。卒業式は中止。市立保育園は当面休園。

▽県立高校の合格発表は22日に延期。

医療機関

◇大船渡市▽県立大船渡病院＝救急患者と薬の処方のみ。受け付けは午前8時30分から。

▽菊池内科医院＝午前8時～午後5時30分。通常診療。

▽岩渕内科＝午前9時～正午。軽症者の診療と薬の処方中心で、院内処方にも対応。

▽えんどう内科クリニック＝診療時間は午前9時～午後4時。軽症者の診療と薬の処方中心。

▽いとう耳鼻咽喉科＝午前9時～午後3～4時。

▽及川皮膚科クリニック＝午前9時～午後2時30分。

▽鳥羽整形外科医院＝午前9時～正午。再診のみで、薬の処方中心。

▽山浦医院＝午前9時～夕方。薬の処方中心。

▽医療チーム救護所＝末崎ふるさとセンター、赤崎漁村センター、蛸ノ浦漁村厚生施設に設置。

▽越喜来診療所＝旧花菱縫製三陸工場で診療。24時間対応。

▽大船渡町のコスモ薬局、アイン薬局、猪川町のよこさわ薬局、どりーむ薬局、つくし薬局で受け付ける。どりーむ薬局とつくし薬局はスタッフを集中させるため、どちらか一方で対応。

◇陸前高田市▽県立高田病院＝米崎地区コミュニティセンターで診療。通院者のみ対応。

▽日赤救護所＝高田一中に設置。

小売店

◇大船渡市▽盛町サン・リアのジョイス大船渡店は午前10時～午後5時まで営業し、商品がなくなり次第終了。総数10点まで。

▽立根町のマイヤ大船渡インター店は午前8時～午後6時まで営業。米、卵、袋ラーメンなどは数量限定販売。1家族総数15点まで。

▽猪川町の薬王堂は午前10時から15人ずつ入店させ、10分間で1人10品のみ販売。

▽立根町の一歩道は午前10時から米10㌔200袋を1人2袋までの販売を予定している。なくなり次第終了。隣接のコイン精米所も営業している。

▽猪川町のクボタ隣接のコイン精米所は営業している。

▽大船渡町のローソン永井沢店は午前10時～正午まで営業。水、お茶、お菓子、たばこを1人10点まで販売する。

▽立根町のアメリカヤ109は午前9時～午後5時まで営業。衣料品の割引販売をしている。希望者には携帯電話の充電も行っている。

▽立根町のドキドキ大船渡店は午前11時から営業、商品がなくなり次第終了。

◇陸前高田市▽マイヤが米崎小学校で水、ラーメンを1人2点まで販売。18日まで。

金融機関

▽JAおおふなとの営業時間は午前9時～午後3時。盛、日頃市、猪川、吉浜、綾里、横田（臨時）、世田米、有住の各支店が営業。1人につき10万円程度まで。

▽岩手銀行盛、世田米支店＝営業時間は午前9時～午後3時。払い戻しのみで、普通預金1人につき10万円まで。

生活資金

◇大船渡市▽10万円までの貸し付けを受け付け。相談は市役所玄関前の市社会福祉協議会窓口まで。貸し付けは即日ではない。